

大阪工業大学應援團 團報



発行所
大阪工業大学應援團
発行責任者 岡田 創史
〒535-8585
大阪市旭区大宮5丁目16番1号
TEL(06)6954-4651

團報

第五十五号

特集

「城北祭」 虹のパズル

「團長挨拶」

大阪工業大学應援團
四十六代團長 岡田 創史

押忍

秋たけなわのこの季節、学生諸君はどのように過ごしているのでしょうか。学業やクラブ活動を過しておられたら何よりです。さて、今年度、自分は第四十六代團長を拝命し、三代続けて團長を務めていたことになりました。今年で應援団活動を始めてから五年が経ちます。この五年間は辛いことも多くありました。それが同じくらい楽しいことも数多くありました。一回生、二回生の頃は團員が自分一人の状態、支えあう仲間がおらず、大変寂しい思いをしながらの日々でした。しかし、入団のきっかけとなった塩崎OB会長への憧れや、永田監督、竹川コーチを始めOBの諸先輩方の温かい指導と應援団を復興したいとの思いから、何とか挫折せず続けることができました。三回生からは待望していた後輩の今井君、翌年は新入生が加入し、應援団としての活動が少しずつ行える様になるとともに、他クラブ・他団体の友人や知人も増え、活動がより一層充実してきました。そして現在では團員が六名となり、少ないながらも漸く団体として活動ができる状態となり、幅広い活動を展望している次第であります。



大学歌

竹友 藤風 作詞
信時 潔 作曲

一、産業の意図なくましく
都の力あつかりて
築き上げたる不学も
仰げ雲霧晴れわたる

生駒の山の空高し

二、新生の道ひらけ行く
国土の命みなぎりて

望み中たけつゝ、学も
歌え広野に大淀の

堤をあらう水清し

子を始めOBの諸先輩方の温かい指導と應援団を復興したいとの思いから、何とか挫折せず続けることができました。三回生からは待望していた後輩の今井君、翌年は新入生が加入し、應援団としての活動が少しずつ行える様になるとともに、他クラブ・他団体の友人や知人も増え、活動がより一層充実してきました。そして現在では團員が六名となり、少ないながらも漸く団体として活動ができる状態となり、幅広い活動を展望している次第であります。



「應援団に想うこと」

大阪工業大学應援團 初代團長
OB会会長 塩崎 恭介

昭和三十八年春、應援団を結成。活動を始めて以来、平成二十五年で半世紀が経とうとしている。昭和三十四年不幸により解散した我が校應援団を再結成したわけである。過去の行状を反省し、民主的に運営され、全学生に愛され支えられる団体となるべく努力を重ねてきた結果、大学当局並びに学生諸氏の理解と賛同を得て、全学的な組織を結成する事が出来ました。その間、代々の團員のご苦労には頭が下がる思いであり、常々感謝しているところでありました。昭和四十年には現役活動の支援とOB相互の親睦を目的に、OB会を立ち上げ現在に至っております。ただ、近年当時の仲間が相次いで鬼籍に入り、私自身も高齢となり、



将来社会人として地域社会や国家に貢献できる人間になるべく、弛まぬ研鑽を積んでもらいたいと思います。勿論、将来の夢を持って入学した以上、卒業を目ざして勉学に励む事を第一に、その余暇を課外活動の一つとして應援団での修練が忍耐強く、また礼節を重んじる人として自己を鍛え、團員同士良き友人としてお互いの友情を大切に温めあつていってもらいたいものです。最後に、これまで應援団活動を支えていただいた顧問の先生方を始め、学内外の関係者の皆様には心より感謝を申し上げますとともに、大阪工業大学の益々のご発展と学生諸君のご活躍、並びに現役諸君・OB会々員各位の健康とご多幸をお祈りいたします。

「城北祭開催に先立って」

大阪工業大学
城北祭実行委員会
委員長 佐藤 雄三



團報をご覧の皆様、こんにちは。第六十四代城北祭実行委員会委員長を務めさせていただきます。おめでとうございます。応用化学科三回生の佐藤雄三と申します。本年は、ロンドンオリンピックが開催された年でもあります。日本選手団の活躍はもろろんのこと、特に際立ったのが団体競技における団結力です。その団結力により、多くのメダル獲得と感動を与えてくれました。我々も、オリンピック選手団に負けないような団結力を見せていきたいと思っております。昨年、最大の盛り上がりを見せたこのライブを今年も行います。そのほかにも実行委員長おすすめ企画盛りだくさんの今年の城北祭。地域ご協力の企画、お子様向けの企画、豪華景品が当たる企画、学生の元気良さが見える企画など見られぬ「虹」そして、

團員募集！！

「応援をしたい」「体を動かしたい」「友達を作りたい」「自分を変えたい」という熱意のある学生であれば学年・性別を問わず誰でも大歓迎！！

東門前の第一部室センター4階の團室または学生課、團員までお申し出ください。

だいじえすと！

應援団では毎月、應援団や各部の活動を学生等にPRするため、「だいじえすと！」というチラシを発行しています。活動報告の他にもほんわかしたネタなども掲載していますので、ぜひ読んでみてください！

展示紹介

鉄道研究部

今回、鉄道研究部では写真パネル展示と鉄道模型の走行会が行われます。

写真パネル展示では各部員が夏合宿中に撮影した鉄道写真を解説文と共に紹介されます。

KAMI扇子展

KAMI扇子展とは、この大学の准教授である上久保敏先生による扇子の展示を行う企画です。

その高低を競う日本の伝統的な遊びです。当日に担当の者が詳しいルール説明などを行います。

お化け屋敷

工大の学生間で静かに語られている噂...「城北祭が開催されている三日間だけ一号館五階のセミナー室で不思議な事が起こるんだって...」

CreativeNG

大阪工業大学情報科学部公認の課外活動サークルで、主にコンピュータグラフィックスを中心とした創作活動を行っています。

第64回 城北祭 開祭!!

「虹のパズル」

10/26(金) ~ 10/28(日)

茶道部

茶道部では二十六・二十七日に学内茶会を、二十八日に茶道体験を、六号館十五階のホールで行います。

演武祭

城北祭最終日の十月二十八日(日)十五時半~十八時に工大東中庭のステージにて、第四十七回総合演武祭が開催されます。



一部 柔道部、合気道部、北道院拳法部、空手道部、応援団の七団体で、我々応援団は、演武祭のしんがりを務める事になっています。

「工学祭」

今年も城北祭で工学祭が開催されます。日程は二十六、二十七日の十時~十七時、二十八日の十時~十六時半で、場所は六号館 階の食堂です。

「土木文化研究部」

土木文化研究部では、八月十八日(土)に見学した、新名神高速道路路面ICの模型を展示します。

「電子工学研究部」

電子工学研究部では、PCで動く自作のゲームを展示します。

「建築文化研究部」

建築文化研究部では、五つの班があり、それぞれ作った模型等を展示します。

「応用化学研究部」

応用化学研究部は、普段の活動で調査している、淀川や近畿のいろいろな川の水質調査のデータ発表を行い、そのデータをわかりやすく地図で示したものを展示します。

模擬店

- 1 「チーズスティック」 美術部
2 「水餃子と緑豆のスープ」 留学生友好会
3 「フライドポテト」 洋弓部
4 「たこ焼き風ベビーカースタラ」 知財二回
5 「サクサククレープ」 林ゼミ
6 「ソースせんべい」 文化会本部
7 「フランクフルト」 OCF 軽音楽部
8 「川上村物産店」 川上村

「芸術祭」

芸術祭実行委員会は、毎年城北祭に合わせて催し物を行います。去年はスタンブラリーを行なっていました。

「北山祭」開催!

十一月三日(土)の文化の日には枚方キャンパスで北山祭が開催されます。

<教室展示案内>



Table with 4 columns: 場所 (Location), 企画名 (Event Name), 団体名 (Organization), 備考 (Remarks). It lists various exhibitions across different buildings and classrooms.

<日程表>

※1 ストリートダンス部
※2 ウインドアンサンブル『耳が覚えている名曲集』

日程表 (Schedule Table) showing events from 9:00 to 18:00 across different venues like 東中庭ステージ and OITホール.

大阪工業大学

應援團紹介

大阪工業大学應援團は体育会系のスポーツの応援はもとより、文化会系クラブの発表会や催しの支援など学生の課外活動に関するものだけでなく、入学宣誓式や学位記授与式など大阪工業大学の名の下に行われる全ての行事を対象に、その発展や成功を願って応援・支援することとしています。そのため、体育会や文化会の所属ではなく、独立した課外活動団体として位置づけられています。

団訓

我々は団員心得を遵守し、押忍の精神に則り、文武を修め、自己を練磨し、一致団結して大阪工業大学発展の為に、隣人相和して国家繁栄の為に寄与することを訓とする。

それらは、応援活動だけではなく、日常生活においても各自の目指すものとして、常に心においています。

団員心得

- 一、団員は、礼節を尊ぶべし。
- 一、団員は、規律を重んずべし。
- 一、団員は、言動に責任を持つべし。
- 一、団員は、質素にして清潔であるべし。

- 一、団員は、素直にして謙虚たるべし。
- 一、団員は、弱気を持つべし。
- 一、団員は、誠意を尽くすべし。
- 一、団員は、恥を知るべし。
- 一、団員は、沈着冷静にして勇猛たるべし。
- 一、団員は、不断の修練に励むべし。
- 一、団員は、卑怯な振舞をせざるべし。
- 一、団員は、他人を批判せざるべし。
- 一、団員は、曖昧なる言動をせざるべし。
- 一、団員は、無駄口、陰口を慎むべし。
- 一、団員は、長幼の序を忘れるべからず。
- 一、団員は、妥協を許すべからず。
- 一、団員は、分を忘れるべからず。
- 一、団員は、義理人情を欠くべからず。
- 一、団員は、自己滅却を恐るべからず。
- 一、団員は、物に動ずべからず。

應援團

平成二十四年度夏期合宿集合写真
(左端、永田監督 右端、松本先輩 (OB))



リーダー部

「應援團にあって、ひとときその存在の目立つリーダー部。しかし、その型を完成させるには、厳しい訓練を積み重ねなければならないのです。」

リーダーは応援の先頭に立ち、応援の指揮をとりまわります。皆さんも応援団と聞いて一番イメージが強い存在だと思います。応援の型はリーダー部内で各代に継承されます。応援の型は「型一」と「型二」があり、「型一」は三・三・七拍子、三・二・一、Vの字、Vの字くずし、ドンク拍子、ボンボ拍子、二・三・一、三「歌の型」は大学歌、学生歌、応援歌、第二応援歌、凱旋歌、



道遠歌、応援節また、応援の型他に工大くずしという型があり、十数種類にもなります。「型一」は太鼓と手拍子と歌で構成されます。リーダーの振りは工大を勝利へと導きます。

ブラスバンド部

腕も折れればかりに太鼓を打つ事、生駒連山をも打ち震わせ、遠くは北摂の峰々に轟くと打ち続けます。

ブラスバンド部はリーダーに合わせ、リズムカルに太鼓を打ち鳴らします。太鼓でも大きな音を出すには腕力と握力が重要で、日々の修練は相当なものになります。日々の修練でマ



メができるのは当たり前で、時には手から血を出しながらも太鼓を叩く姿は壮絶そのものです。しかし、その修練から繰り出される太鼓の音は応援活動を助けるにはとても大きな効果を発揮します。また、リーダーの振りにあつた太鼓のリズムは美しさをも感じさせます。腕も折れればかりに太鼓を叩く姿は見るものや聞くものに感動を与えます。

旗手部

「紫の團旗行く所、常に勝利あり。大阪工業大学應援團のシンボルである紫の團旗をただひたすら持ち続けます。」

旗手は團旗を応援終了まで持ち続けます。旗を持つ旗手自身も團旗として一切動かさず、大阪工業大学應援團の象徴として立ち続けています。大阪工業大学應援團には三つの旗があります。小さいものから中団旗、大団旗、鉄柱旗とあり、鉄柱旗については五人が支えないと掲げることができないほどのとても大きな旗となっています。皆さんほとんど、大団旗を見ることになると思いますが、



団員紹介

「団員紹介を読んでいただく前に」

我々大阪工業大学應援團は去年、団員3名と小規模で活動をしていた。団員3名の時は応援態勢すらままならない状態であったが、今年度は一回生が三人加わったということもあり、去年よりも少ないながら応援態勢を組めるようになった。しかし、まだまだ小規模なもので、これからは団員をさらに増やし精力的な活動をしていきたい。

現在の団員は全員、快活でとても気さくな者たちだ。この紹介で大阪工業大学應援團の団員を覚えていただきたい。そして、応援團に御用の時は一声かけてもらえればと思う。

團長

岡田 創史
知的財産研究科
知的財産専攻
大学院二回生



リーダー部・ブラスバンド部
新家実
工学部応用化学科
二回生



リーダー部・旗手部
松永諒
知的財産学部
知的財産学科
一回生



團長といえはこの人だ。応援團は一期生が0名になるという状況に陥ったのだが、そこに入団し、後輩が入ってくるまでの二年間は一人で、そのあと三年間は我々後輩を率いて、これまで五年間応援團を支えてきた。この人がいなければ今の応援團は存在しなかっただろう。体格は小柄だが、強靱な精神力でどんな困難も乗り越えてきた。人柄もよく、どんな人ともすぐに打ち解けることができる。我々が最も尊敬している人物だ。

小柄な体格ながら応援團の心構えを著実、正確にその身に刻み付けている。体格からは想像できないようなパワーと体力を持ち、他を圧倒する力強さは彼の持つ潜在的な器の大きさを知らることができる。また、力強さとともに優しさも兼ね備えている。彼は豊中市こども会の活動にも所属し、子どもの育成や地域活動の支援などにも携わっている。力強さと優しさを兼ね備えた彼の今後の成長に大いに期待したい。

くまのプーさんをこよなく愛する彼は人一倍優しい。同級生先輩への気配りは見習いたいと感じる。また、ユーモアセンスが高く、会話を交わしているだけでも楽しく、文化的な知識も豊富で感心することがよくある。それだけでなく、幼い頃からバスケットボールをしている彼は身体能力も高く、ほとんどの役割をこなせる器用さを兼ね備えている。まさに文武両道は彼のためにある言葉で、これから応援團として共に過ごす日々がとても楽しみである。

副團長

今井 聡
工学部電気電子
システム工学科
三回生



リーダー部

榎原 千跡
工学部電子情報
通信工学科
一回生



旗手部

森田 匡亮
工学部
建築学科
一回生



どんな時でも沈着冷静で、落ち着いた雰囲気を持っているお方である。しかし、温厚そうな顔立ちからは想像できないほど、後輩を注意するときの迫力には凄まじいものがあり、室内に緊張感が走る事もしばしば。後輩からは大変頼りにされており、兄貴的な存在である。しかし、一旦団活動から離れると、とても愉快で優しい性格に戻られる。特にノリの良さは天下一品で、どんなことでも面白おかしく、周りを楽しませてくれる。

応援團のキムタクとは彼のことである。一見華者に見える彼の身体、実は脱ぐとすごい。体操部で培われた強靱な肉体を持っている。無駄な肉がない細マッチョである。また、忍耐強く、強い精神力を持ち、外面、内面共に揃っているまさに完璧な人間である。応援團ではリーダー部を務め、型を振りながら汗を流すその姿は一見の価値あり。演武祭でもその姿を見ることができる。

百m先からでもわかるその巨体。彼こそが応援團の横綱森田匡亮である。九十キロ超の身体からは独特の雰囲気が出ており、すでに大物の風格を漂わせている。そんな彼は、応援團のマスコットの存在であり、「おもしろい」「かわい」「不思議」の三拍子が揃っている。あの巨体に包まれてしまえば、どんな人もたちまち心を許してしまうだろう。普段はその包容力で団員達に安心感をあたえている。その包容力は團旗を安心して任せられる存在である。

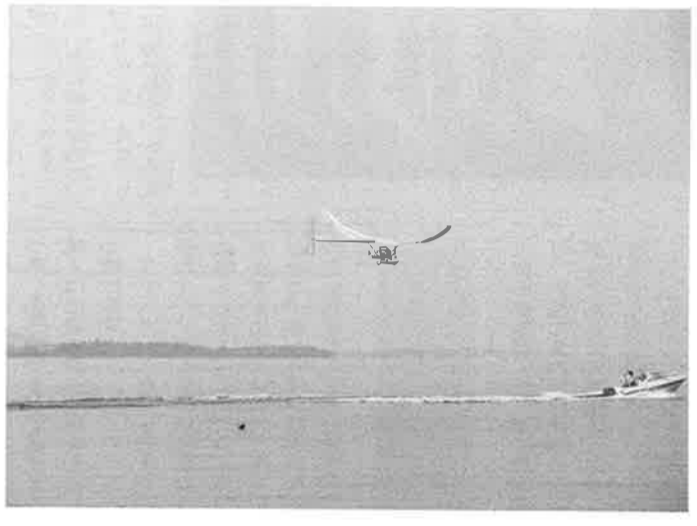
各部の活動報告

アメリカンフットボール部 秋季リーグ戦 九月十八日(土) 王子スタジアム 大工大7-21 和歌山大学 洋弓部 関西学生フィールド大会 八月三十日(木) 伊東大悟五十一・三位 北道院拳法部 第三十四回北道院型選手権大会 九月九日(日) 守口市民体育館 杉村勇也 優勝 川元勝博 準優勝 武田桂 準優勝 吉見拓哉 敢闘賞 津田拓哉 敢闘賞 中村立 敢闘賞 空手道部 第五十二回空手道系東大会 全国選手権大会 八月二十五日(土) 二十六日(日) 大阪市中央体育館 団体戦三位 杉森良 無差別ベスト8 剣道部 第六十回関西学生剣道優勝大会 九月九日(日) 大阪市中央体育館 男子団体女子団体ともに二回戦進出 ゴルフ部 関西学生男子秋季四・五・六部校学校対抗戦 八月二日(木) 三日(金) 三位 サイクリング部 全日本学生ロードレース・カップシリーズ 第四戦白馬ラウンド 小西優大C2 七位 硬式野球部 秋季リーグ戦 陸上競技部 第三回尼崎ナイター記録会 九月一日(土) 走り幅跳び6尺6.9センチ テコンドー部 第三回インタークラブ テコンドー選手権大会 七月一日(日) 堺市原池公園体育館 優勝 日本拳法 大阪市民大会 七月十五日(日) あべのスポーツセンター 二回戦進出 サッカー部 関西学生サッカーリーグ 六月二十四日(日) 瀬田部 新人ナックルレガッタ 八月四日(土) 五日(日) 瀬田川 男子ナックルフォア 優勝 女子ナックルフォア 三位 アイスホッケー部 関西学生 アイスホッケーリーグ戦 九月三日(月) 十一月二十三日(金) 浪速スケートリンク フットサル部 関西大学学生リーグ 九月十三日(木) 対立命館大学 大工大が勝利 バドミントン部 第三十二回 バドミントン選手権大会 八月二十八日(火) 九月六日(木) シングルス三回戦、四回戦 出場 ダブルス三回戦出場 環境工学部 川上村環境調査に参加 八月七日(火) 八日(水) ウィンドアンサンブル、応用化学部 旭区民祭りに参加 八月二十五日(土) 土木文化研究所 測量コンテスト in 高知工科大学 八月二十六日(日) 四位 機械工学科研究部 かわさきロボット競技大会 八月十三日(木) 十八日(火) 神奈川県川崎市産業振興会館 ベスト24 井口直登 敢闘賞 ボランティア教育研究会 「タックリングをしよう！」参加 八月三十日(木) 九月八日(土) 旭区民センター 演劇部 三大学合同プロデュース公演 九月三日(月) アトリエSpace ウィンドアンサンブル 「吹奏楽の日」 九月二十三日(日) 京都駅ビル室町小路の大階段 軽音楽部 ジョイントライブ 参加 九月三十日(日) 神戸三宮太陽と虎ライブハウス 十月二十日(土) 関大前THホールライブハウス

鳥人間コンテスト ディスタンス部門 順位表

Table with 4 columns: 順位 (Rank), チーム名 (Team Name), フライト距離(m) (Flight Distance), 出場回数 (Number of Appearances). Rows include 1st: 東北大学 Windnauts (14129.34m, 14 times), 2nd: 日本大学理工学部航空研究会 (12342.38m, 30 times), 3rd: 芝浦工大+ガールズケイリン (840.9m, 15 times), 4th: 京都大学 ShootingStars (835.38m, 19 times), 5th: 東京工業大学 Meister (587.41m, 17 times), 6th: 大阪工業大学 人力機プロジェクト (525.89m, 9 times), 7th: 広島大学工学部 HUES (197.81m, 9 times), 8th: 東京都市大学 APSARAS (110.67m, 7 times), 9th: 空飛ぶオランダの会 (74.77m, 1 time), 10th: 北海道大学 Northern Wings (44.95m, 5 times), 11th: 大阪大学 albatross (37.19m, 4 times).

大工大 フライトの様子



鳥人間コンテスト 飛ばなきゃならない ワケがある！

大阪工業大学の出場した人力プロペラ機ディスタンス部門には十一チームが出場し、大阪工業大学は六番目のフライトでした。機体を操縦していたのは機械工学科四回生のアルヒンディヤシールアハミド君です。ヤシール選手はサウジアラビアからの留学生で、サウジアラビアの方もたくさん応援に来ていました。

大阪工業大学の出場した人力プロペラ機ディスタンス部門には十一チームが出場し、大阪工業大学は六番目のフライトでした。機体を操縦していたのは機械工学科四回生のアルヒンディヤシールアハミド君です。ヤシール選手はサウジアラビアからの留学生で、サウジアラビアの方もたくさん応援に来ていました。

衛星打ち上げの瞬間



大工大 宇宙へ 込めた思い 大阪工業大学の『Project of OIT Electric-Rocket-Engine Onboard Small Space Ship(通称『PROTHERS(ロイテレス)』)』というプロジェクトは二〇〇七年四月に企画されました。このプロジェクトはとても大規模な企画だったので、開始から一年間は、教授の方々のみで実行可能かどうかのディスカッションを行っていました。その結果、実行可能と判断されたので、二〇〇八年に学生を交えて本格的にプロジェクトが開始されました。プロジェクト開始後は、教授の方々はバックアップを行い、主に学生だけで作業を進めていきました。人工衛星が完成するまでに多くの歳月を要し、その間に作業に携わった学生の人数は五〇人ほどで、中には卒業してしまっただけの学生も含まれています。そして、二〇一二年九月九日にインドの南東海岸にあるサテッシュ・ダワン宇宙センターで打ち上げが行われました。時刻はインド時間で九時五三分、日本との時差は三時間半なので日本時間では一三時三十分です。人工衛星は『ロイテレス衛星一号機』と名付けられ、PSLVロケットC21号機に搭載されました。



ロイテレス

さらに、今回のフライトについての思いも語ってくれました。「今回飛んだ距離525.89mはそれなりに期待に応えることができたと思います。長い間かけてつくったものが飛んで、すごく感慨深いものでした。」川崎さんは今年で引退なのですが、来年も出場するために機体の制作を頑張りたいと後輩の方々に想いを託していました。機体の重さなどを改良すれば次は1kmほど飛べるのではないかとという予想がされています。そして、ゆくゆくは3kmほど飛べるようになることを目標にしているようです。次回もぜひ一位を目指して頑張ってください。

平成二十四年度 夏期合宿

去る八月二十三日(木)から二十八日(火)まで、我々応援団一同は京都の宮津・丹後由良の地にて夏期合宿をおこなった。宿は「料理旅館 松風」にお世話になった。宿舎の裏手は天橋立国定公園となっており、部屋からは日本海の波が打ち寄せる砂浜が臨むことができる。例年になく今年は猛暑の日が続いていたが、夕暮れ時には、合宿地を囲うように連なる山々が日陰をつくるため、若干快適に過ごすことが出来た。この自然が豊

初めての夏期合宿を終えて

リーダー部一周年 榎原 千跡 合宿では、体力稽古はもちろんのこと礼儀作法も先輩から教わりました。先輩に、礼儀は人の事を敬って行動していれば自然とできるはずだということを教わりました。自分の礼儀ができていないのは、人を敬う気持ちがないから、人を敬う気持ちが出てくるとのことです。これから自分自身が主体となつて事を進めたいのは初めてで、打ちあがった瞬間はとにかく感動した。学生達が頑張つて作り上げてきたものが、皆さんの学生の応援の中で無事に打ち上げが成功したことは、学生達と自分自身の心に一生残るであろう。と語ってくださいました。最後に学生達に伝えたいことを尋ねたところ、「この計画のキャッチフレーズでもある言葉で、宇宙は決して夢ではない。努力すれば手が届くものである」ということを伝えたい」と仰っていました。今回の企画で宇宙に興味を持った人は、ぜひプロジェクトに参加してみたいかがですか。最後に、インタビュアーに協力してくださった田原教授にこの場を借りて御礼申し上げます。



が出来なかつた團旗の掲揚および太鼓の稽古を行った。合宿最終日は由良神社へ参拝した後に、天橋立ビューランドに立ち寄った。帰阪した後、大宮神社へ参り、大きな事故もなく無事に合宿を終えたことを報告した。そして、各々帰路に就いた。合宿に先立ち、前稽古(二日間)と合わせて、全日程八日間では團員全員の心身を養い、成果があった。最後になりましたが、料理旅館松風の皆様をはじめ、遠路はるばる来ていただいたOBの方々にはこの場を借りて御礼申し上げます。